

令和5年度県政モニターアンケート

ヤングケアラーに関するアンケート調査

子育て支援局子ども福祉課

1. 調査の趣旨

ヤングケアラーに関して、県民の皆様がどのような意識を持っているのかを調査し、今後の施策の推進に役立てる。

2. 調査対象

令和5年度県政モニター 449人

3. 調査時期

令和5年8月29日～9月22日

4. 調査方法

郵送・インターネット

5. 回答者数

340人（回答率 75.7%）

内訳は次表のとおり。

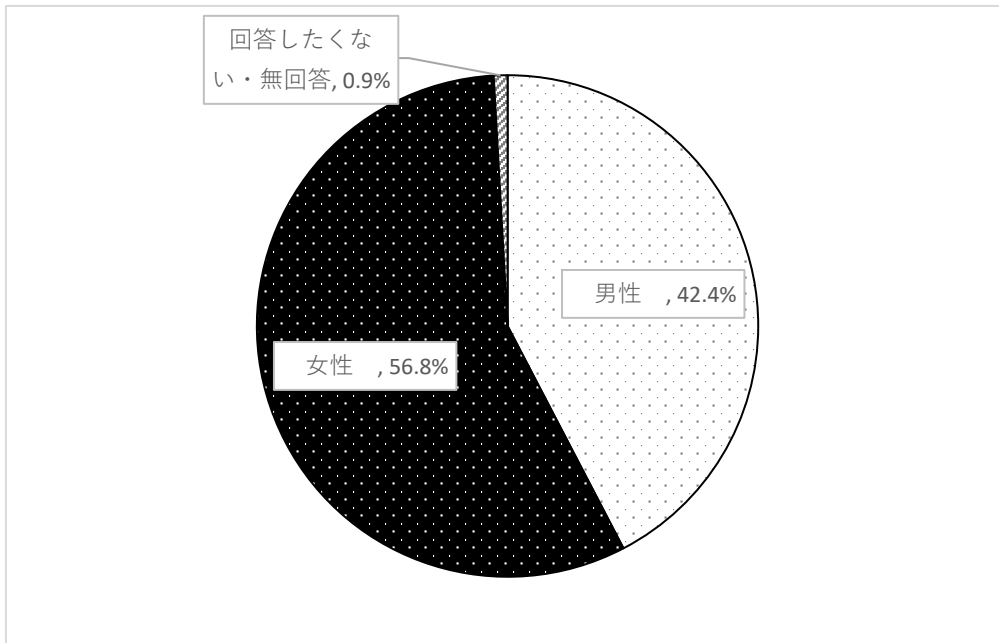
（単位：人）

区分	計		地域別					
	人数	構成比	中北地域	峡東地域	峡南地域	富士・東部地域	無回答	
全体	340	100%	204	38	20	77	1	
性別	男性	144	42.4%	88	9	14	33	0
	女性	193	56.8%	115	28	6	43	1
	回答したくない・無回答	3	0.9%	1	1	0	1	0
年代別	20歳未満	4	1.2%	3	1	0	0	0
	20歳代	54	15.9%	35	6	2	11	0
	30歳代	42	12.4%	27	6	1	8	0
	40歳代	69	20.3%	37	10	3	19	0
	50歳代	50	14.7%	29	1	6	14	0
	60歳代	65	19.1%	38	8	5	14	0
	70歳以上	56	16.5%	35	6	3	11	1
	無回答	0	0.0%	0	0	0	0	0

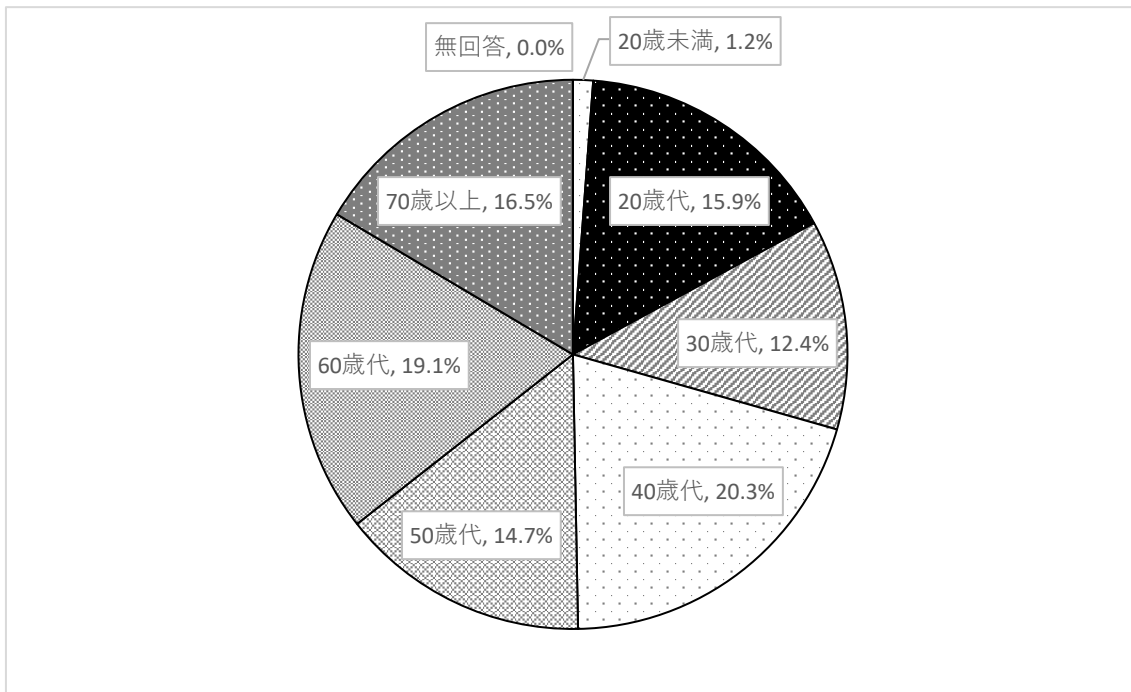
6. 調査結果

(1) あなたご自身のことについて

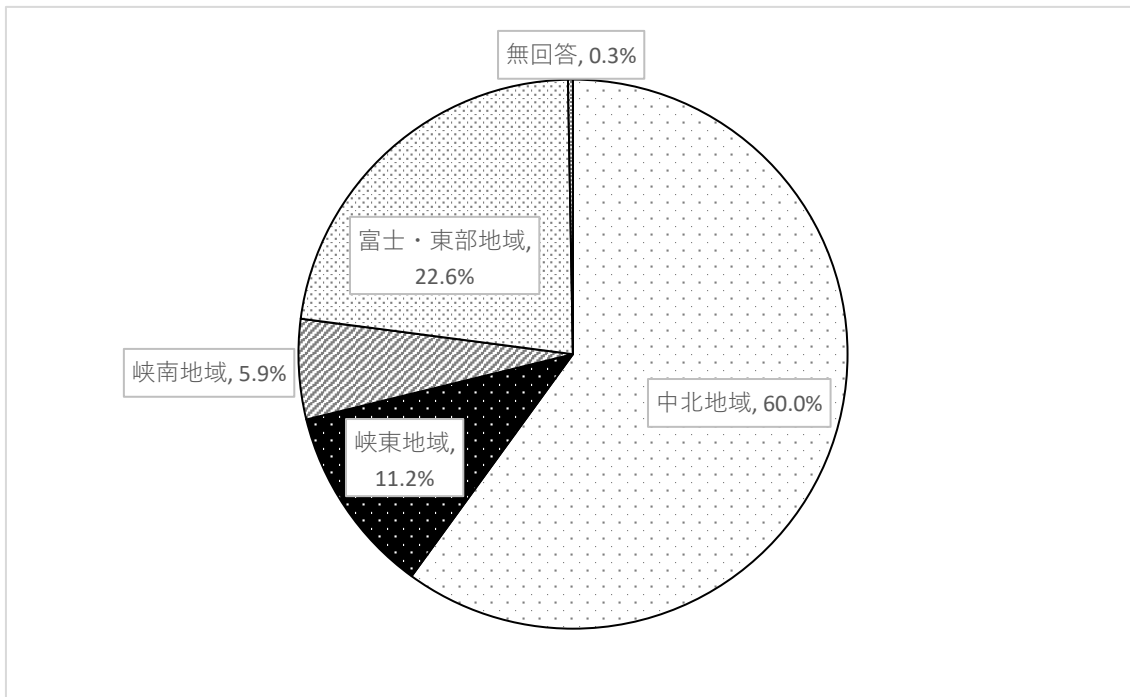
F1 あなたの性別を教えてください。(n=340)



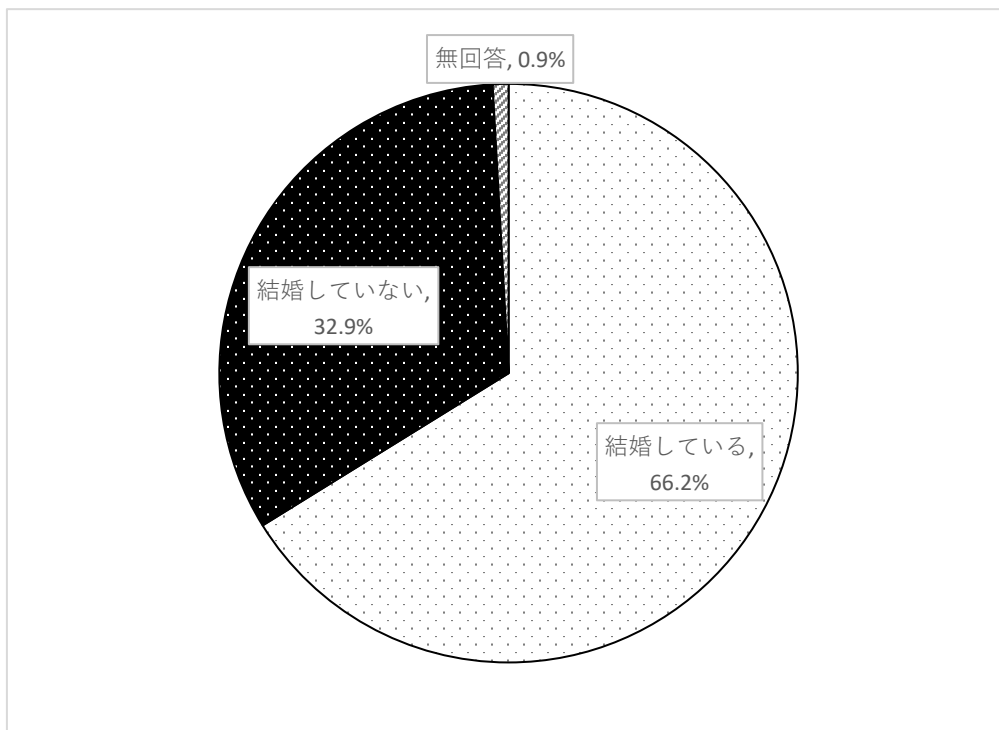
F2 あなたの年代を教えてください。(n=340)



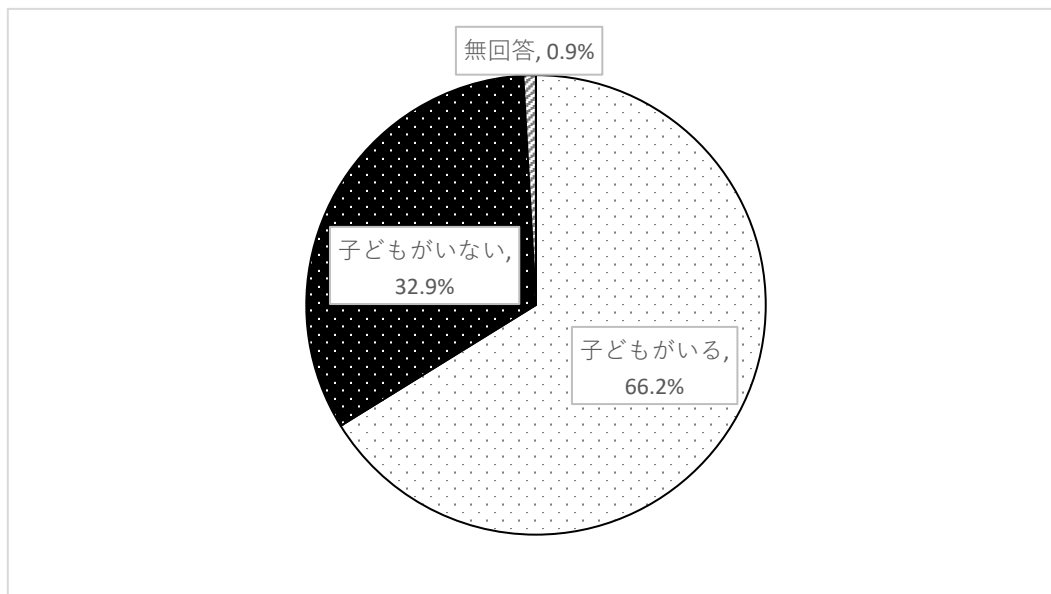
F3 あなたが住んでいる地域を教えてください。(n=340)



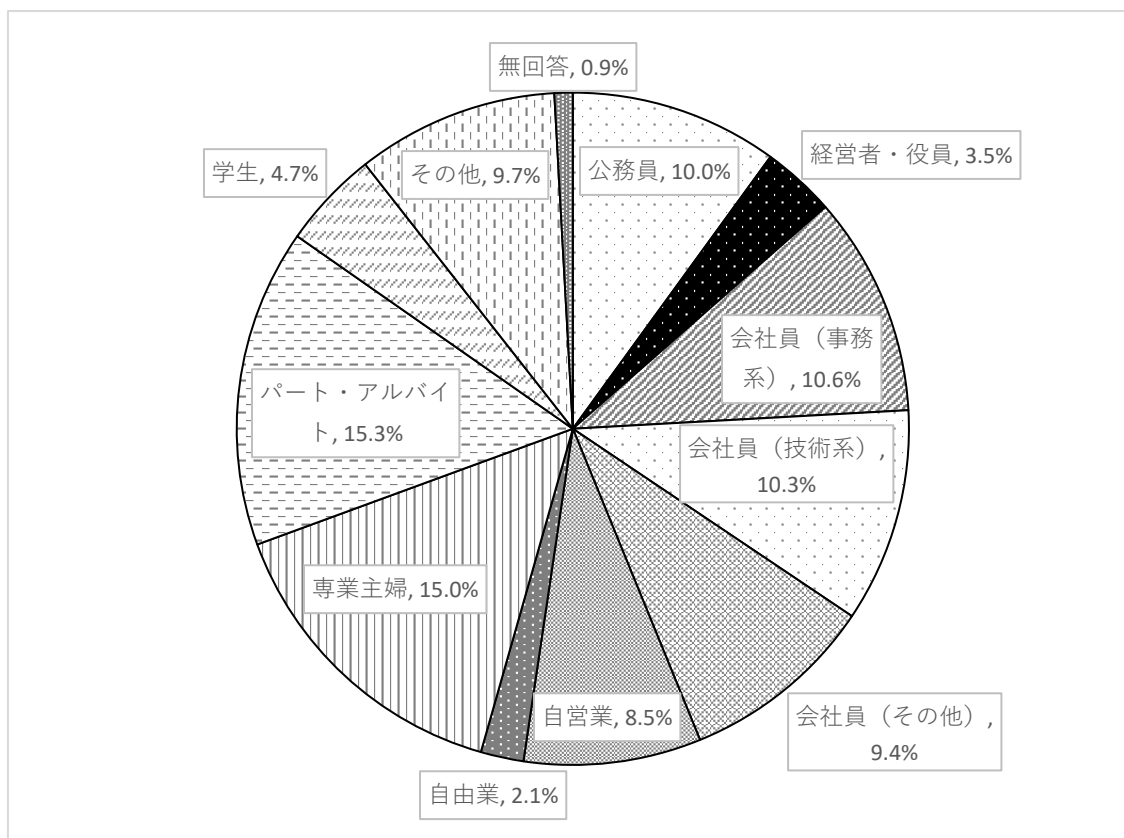
F4 あなたの婚姻状況を教えてください。(n=340)



F5 あなたの子どもの有無を教えてください。(n=340)

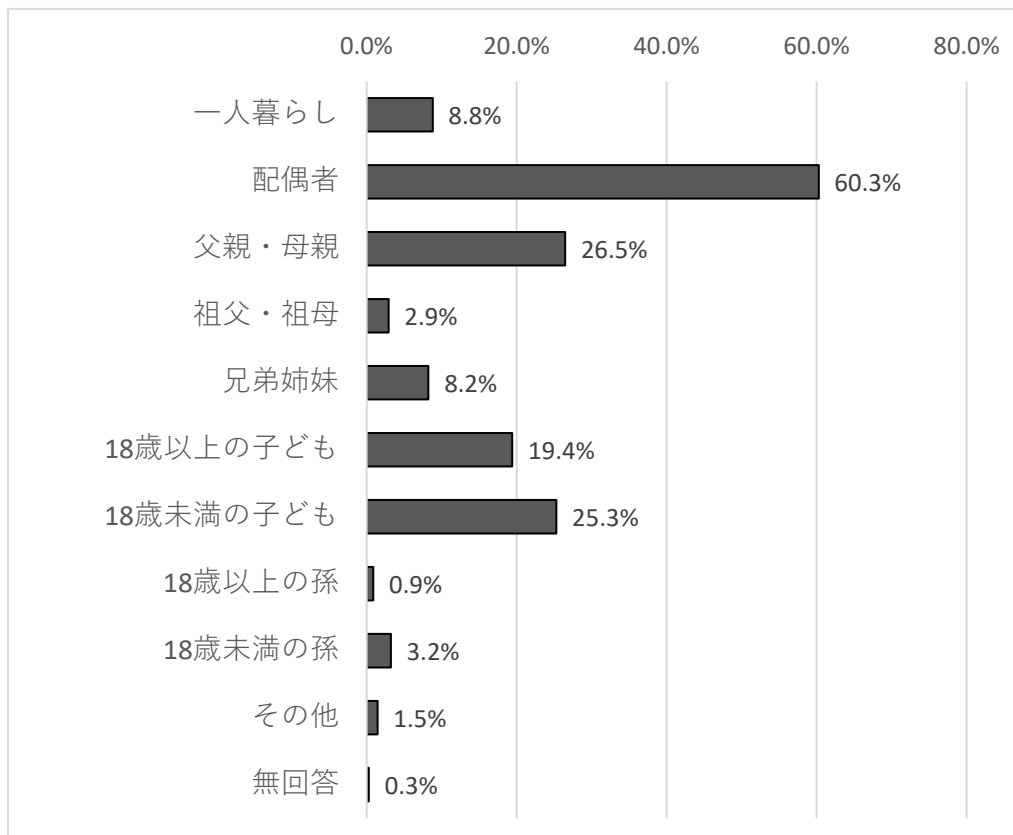


F6 あなたの職業を教えてください。(n=340)



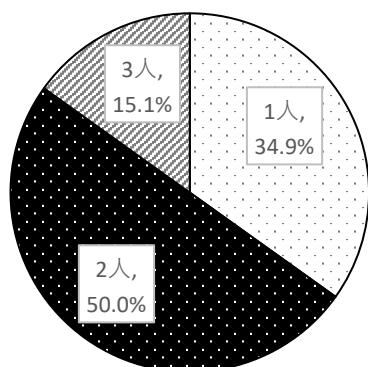
その他（内訳）：無職（22人）、年金生活者（2人）、シルバー人材の仕事、看護師、保育士、NPO 団体職員、動物保護活動、実家（自営業）の専従者

F7 現在一緒に住んでいる家族について教えてください。(複数回答可) (n=340)

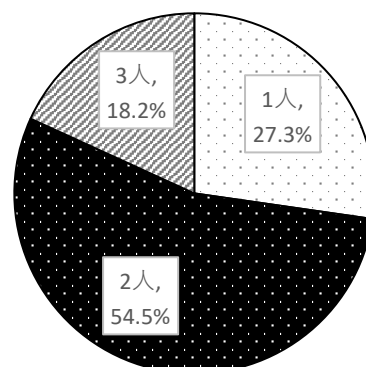


その他 (内訳) : 子の妻、パートナー、彼氏、お付き合いしている方

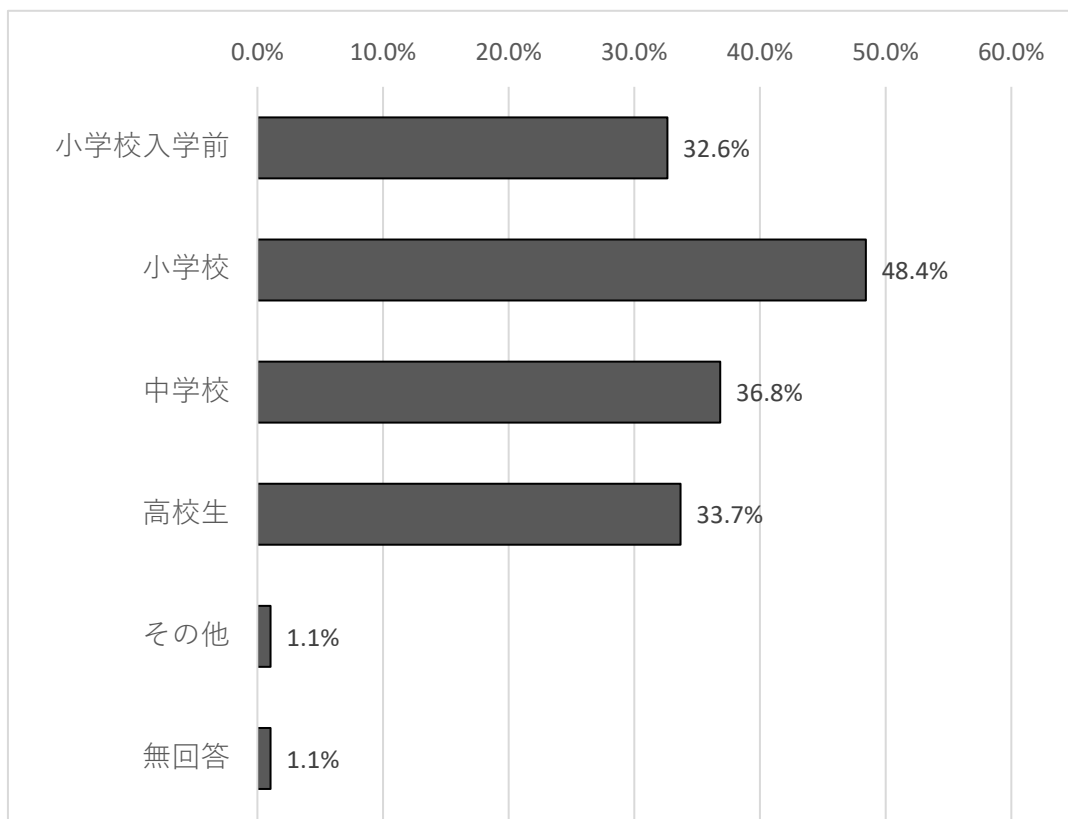
F7-1 18歳未満の子ども
の人数(n=86)



F7-2 18歳未満の孫の
人数(n=11)



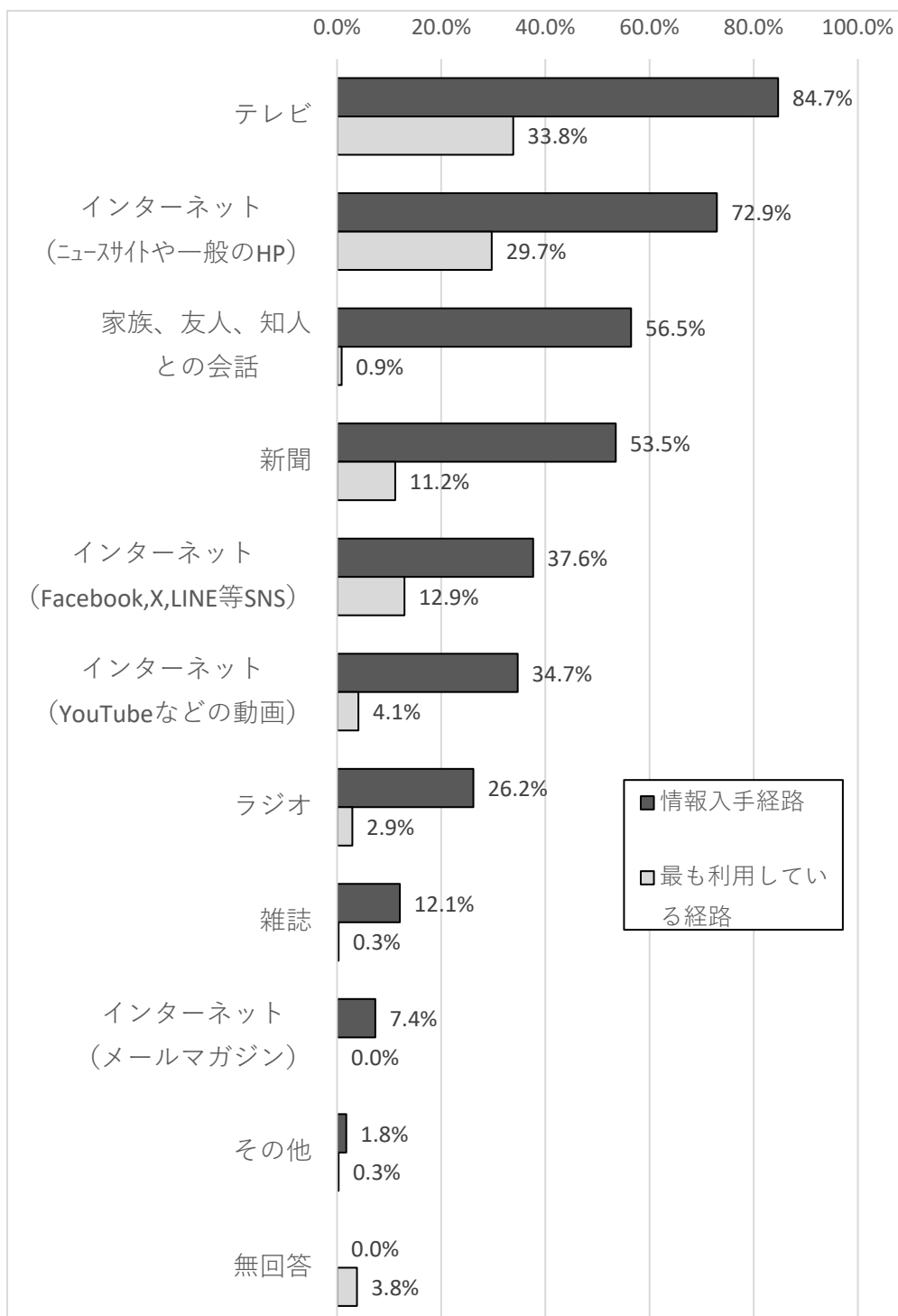
F8 18歳未満の子ども・孫の年代を教えてください。(n=95)



その他（内訳）：具体的な記載はなし

F9(1) あなたは、普段どのような方法で情報を入手していますか。(複数回答可) (n=340)

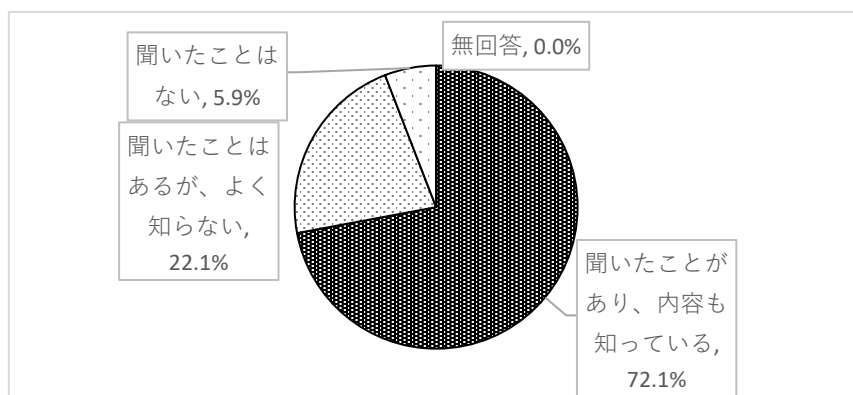
F9(2) 最も利用する情報入手方法を教えてください。(n=340)



その他 (内訳) : (1) 市や地域研修会参加、本、勤務先での各関係団体からの情報収集、地域情報誌、職場での勉強会、入手した情報の内容によって異なる
 (2) 情報の種類によって使い分けているのでどれが一番とは言えない

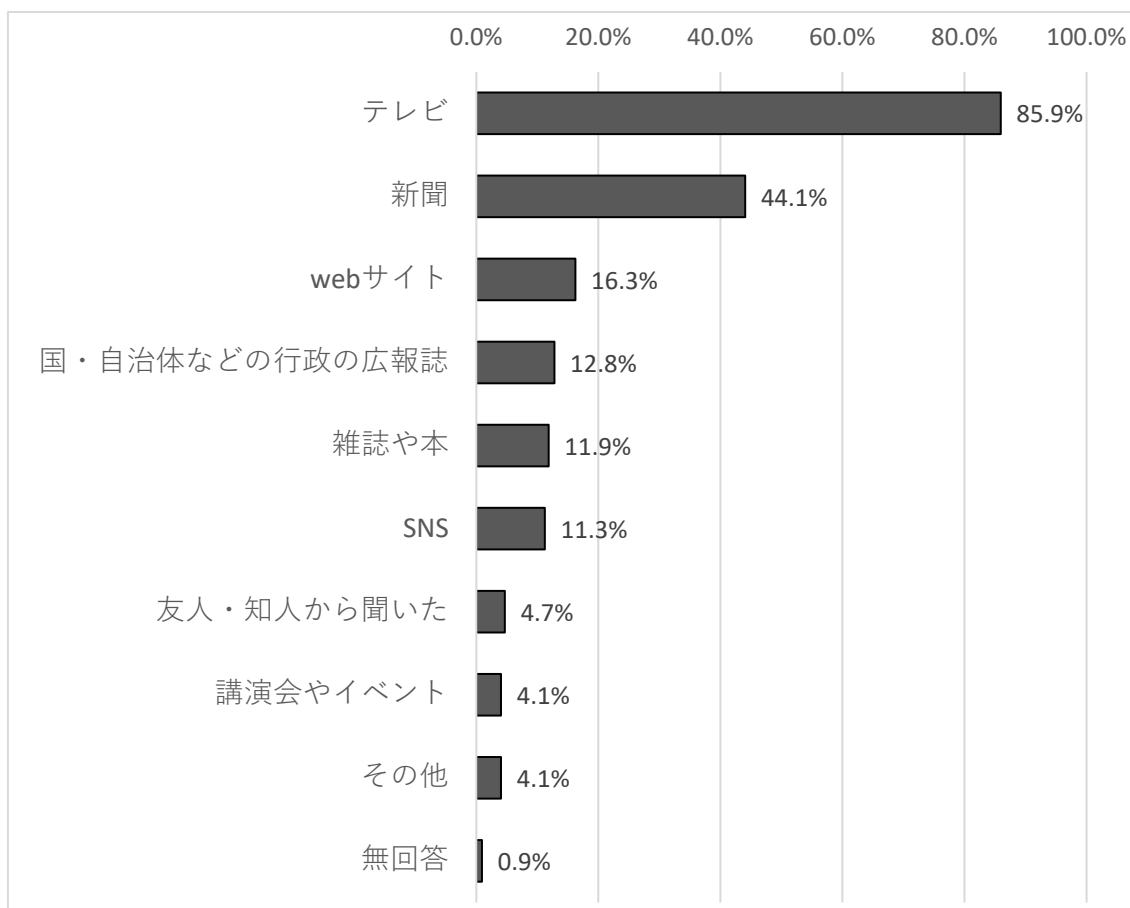
(2) 「ヤングケアラー」について

問 1 「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありましたか。(n=340)



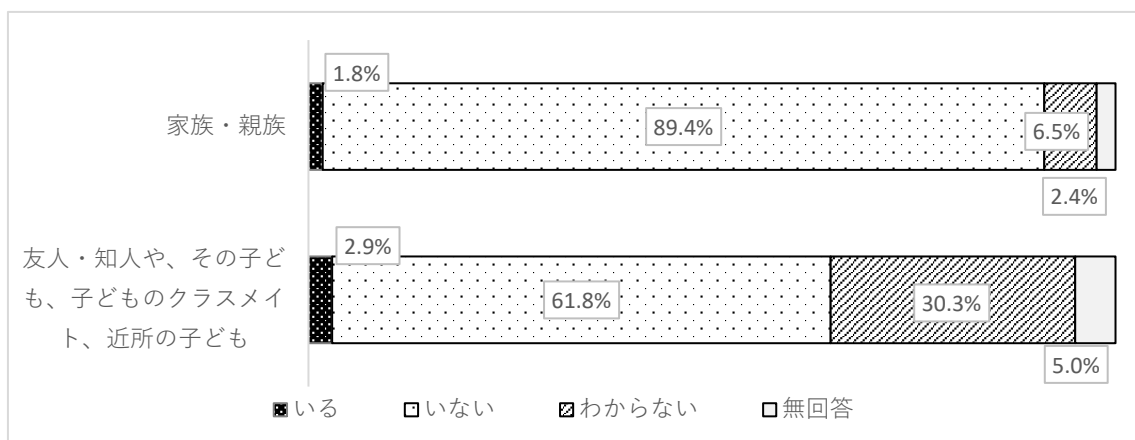
【問 1 で「1 聞いたことがあります、内容も知っている」「2 聞いたことはあるが、よく知らない」と回答した方】

問 2 「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。(n=320)



その他（内訳）：職場（3人）、専門職のため、仕事に関わる研修、民生委員をしていた、大学の講義、大学の講習、ラジオ、子供が学校から持ってくるお便り、覚えていないが、SNS かネットニュースサイト

問3 家族・親族や、友人・知人やその子ども、子どものクラスメイト、近所の子どもに「ヤングケアラー」と思われる子どもはいますか。



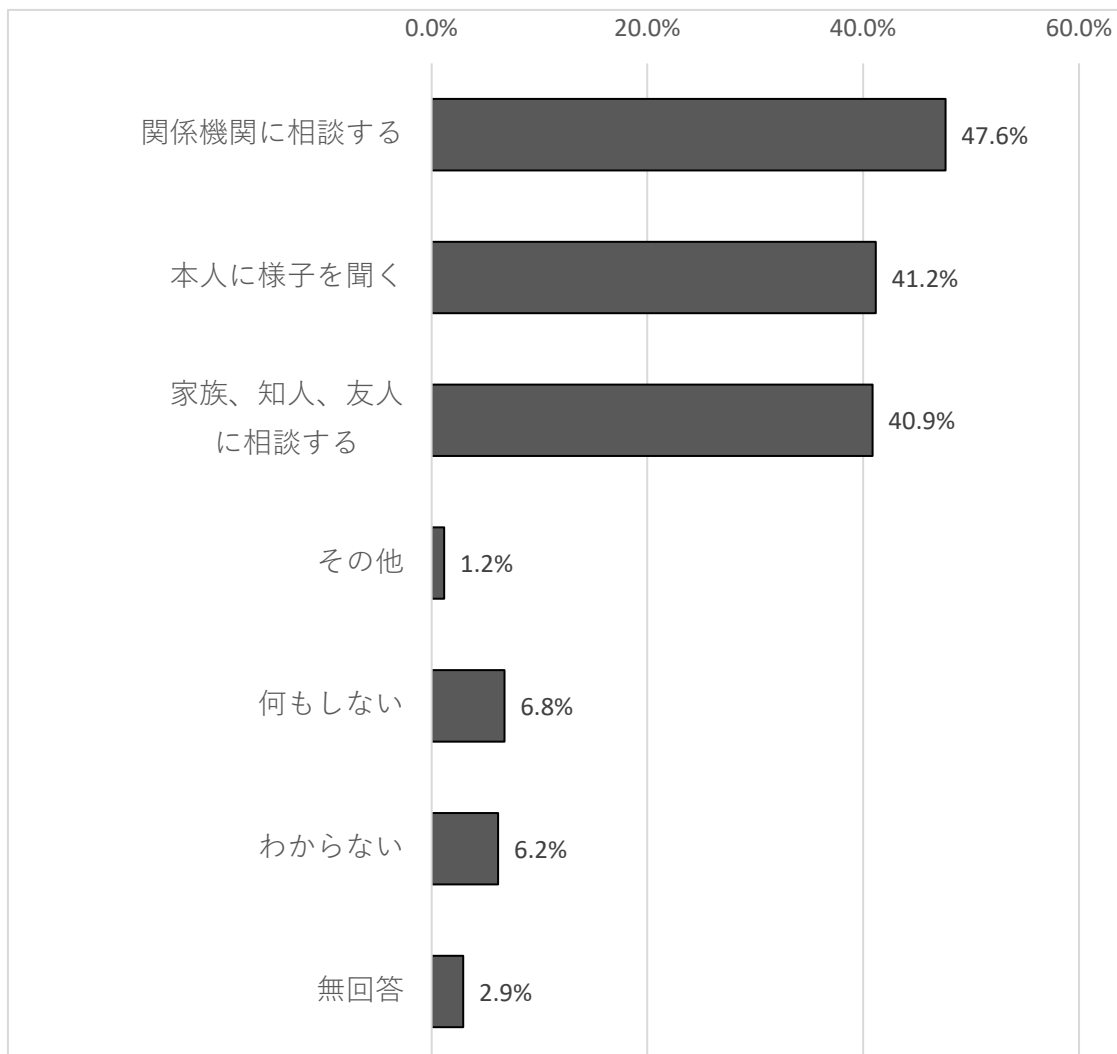
問4 なぜその子どもが「ヤングケアラー」だと思いましたか。(人)

	家族・親族 (n=6)	友人・知人や、その子ども、子どものクラスメイト、近所の子ども (n=10)
家事をしているのをよく見かける (してもらっている)	0	7
スーパー等で買い物をしているのをよく見かける (してもらっている)	1	4
きょうだいの世話や送迎をしているのをよく見かける (してもらっている)	0	5
家族の介助をしているのをよく見かける (してもらっている)	1	7
家族の外出の付き添いをしているのをよく見かける (してもらっている)	1	4
家族の通院の付き添いをしているのをよく見かける (してもらっている)	0	6
役所・役場に行っているのをよく見かける (行ってもらっている)	0	1
家族の通訳 (日本語や手話など) をしているのをよく見かける (してもらっている)	0	2
その他	2	2
無回答	1	0

その他 (内訳) : (家族・親族) 自分がヤングケアラーだったし、近所の高校生にそう思う子がいる。私が子供に迷惑や負担を掛けてしまっていた事がある。

(友人・知人～の子ども) 母親の運転免許証で自動販売機でお酒を買う姿を見かけた。

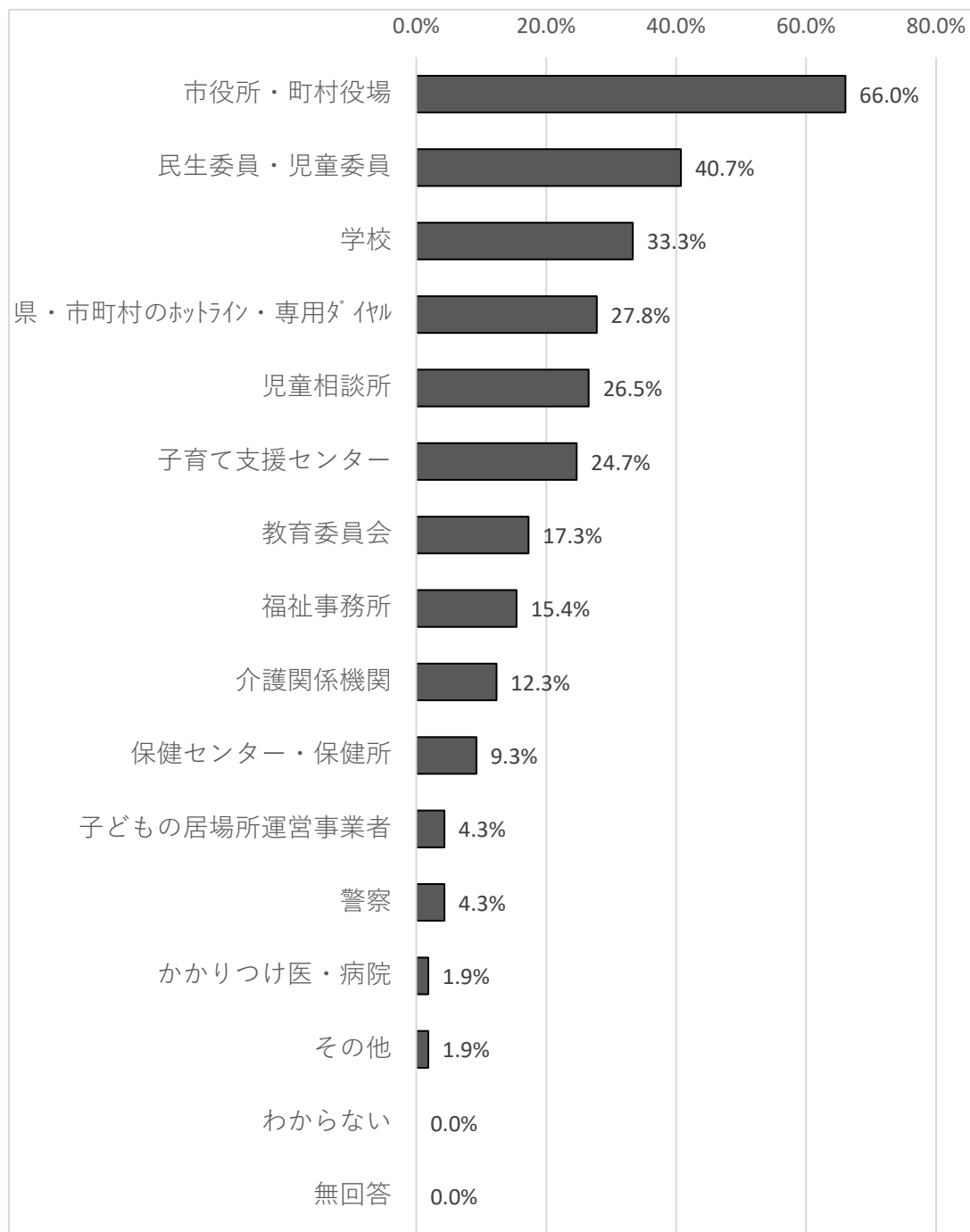
問5 身の回りに「ヤングケアラー」と思われる子どもがいる場合、どのような対応をしますか（身の回りに「ヤングケアラー」と思われる子どもがいない・いるかわからない場合はいたと仮定してお答えください）。(n=340)



その他（内訳）：人として立派な行為であれば励ます。世話を苦痛に思うようであれば、関係機関に相談することをすすめる。その親御さんに支援が必要か否か分からないので、まずはご家族と話ができる状態になることを目的に動く。

【問5で「1 関係機関に相談する」と回答した方に】

問6「ヤングケアラー」と思われる子どもがいた場合（いたと仮定した場合も含む）、どのような機関に相談しようと思いますか。（n=162）



介護関係機関の例示：地域包括支援センター・介護事業所など

子どもの居場所運営事業者の例示：子ども食堂・学習支援など

その他（内訳）：友人に相談し、連絡（相談先）を聞く。すぐ動いてくれる適切な機関

親御さんに必要な支援の相談ができる場所（状態、内容により変わる）

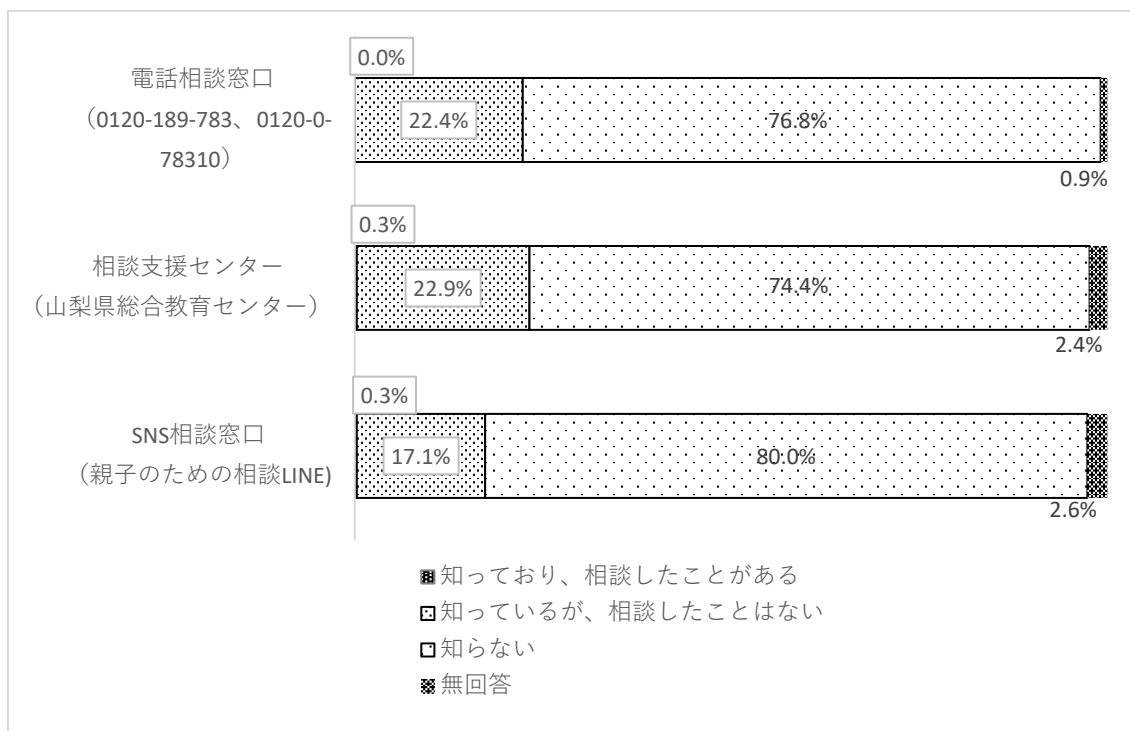
【問5で「5 何もしない」と回答した方に】

問7 問5で「5 何もしない」と回答した理由として最もあてはまるものをお答えください。(n=23) (人)

家族の問題に関わることに抵抗感があるため	13
どのように対応したらよいかわからないため	7
家族が家族の世話をすることは当たり前であるため	1
相談する余裕がないため	0
その他	3
無回答	0

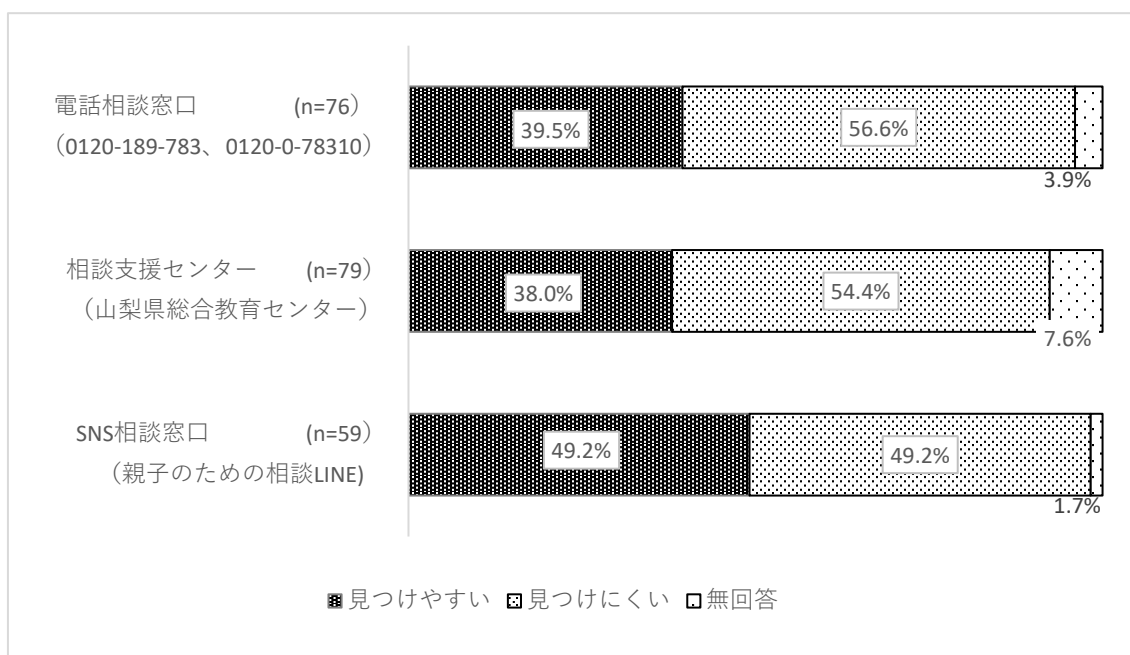
その他（内訳）：過去に自分自身がヤングケアラーに当てはまる状況だったときに、誰かに相談しようと思える余裕もなく、他人に頼るということから避けていた。そのような理由から、私は「何もしない」というより「何もできない」と思っている。

問8 山梨県の「ヤングケアラー相談窓口」について知っていますか。(各 n=340)

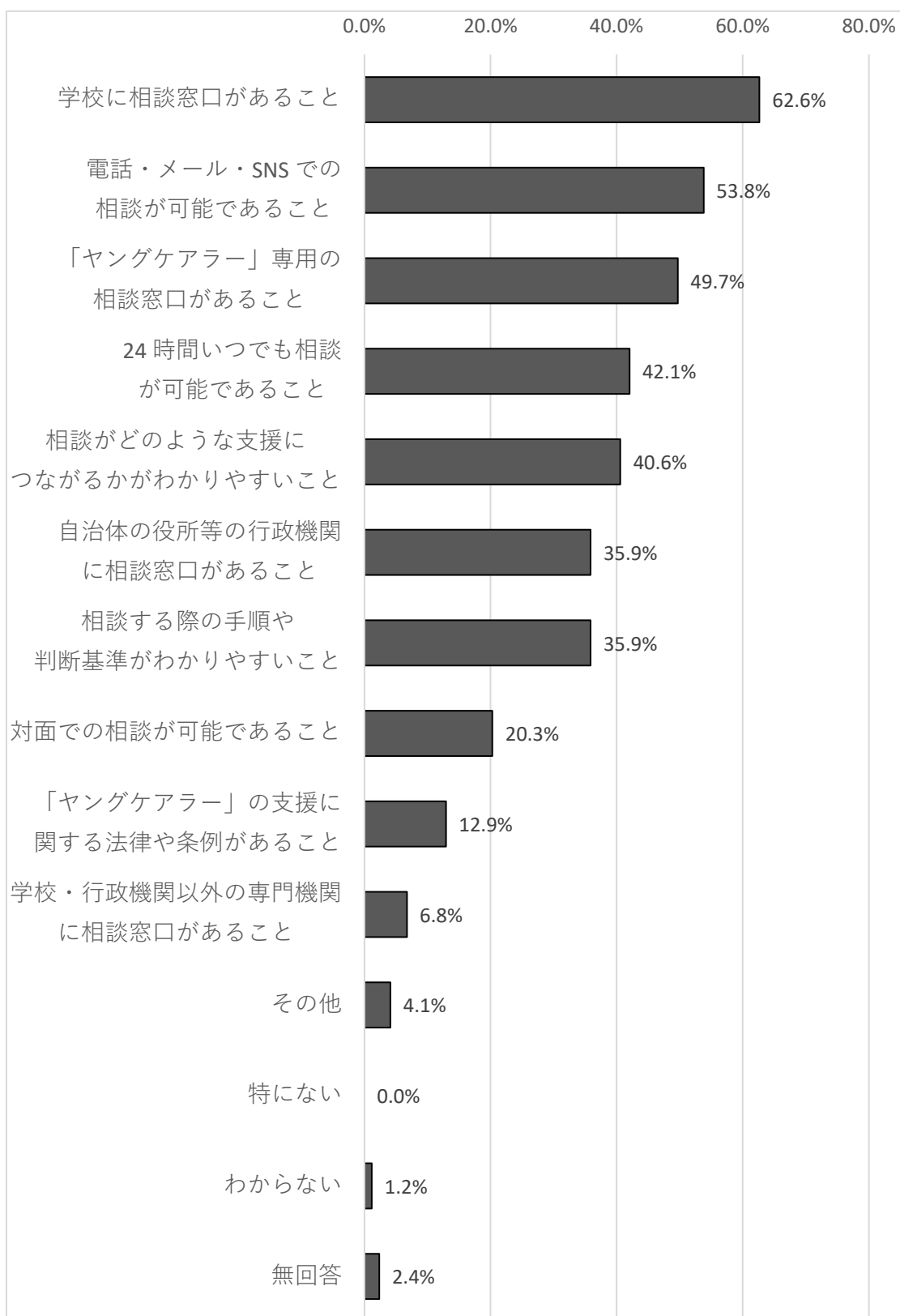


【問8で「1 知っており、相談したことがある」「2 知っているが、相談したことはない」と回答した方に】

問9 相談窓口のを見つけやすさはどうですか。



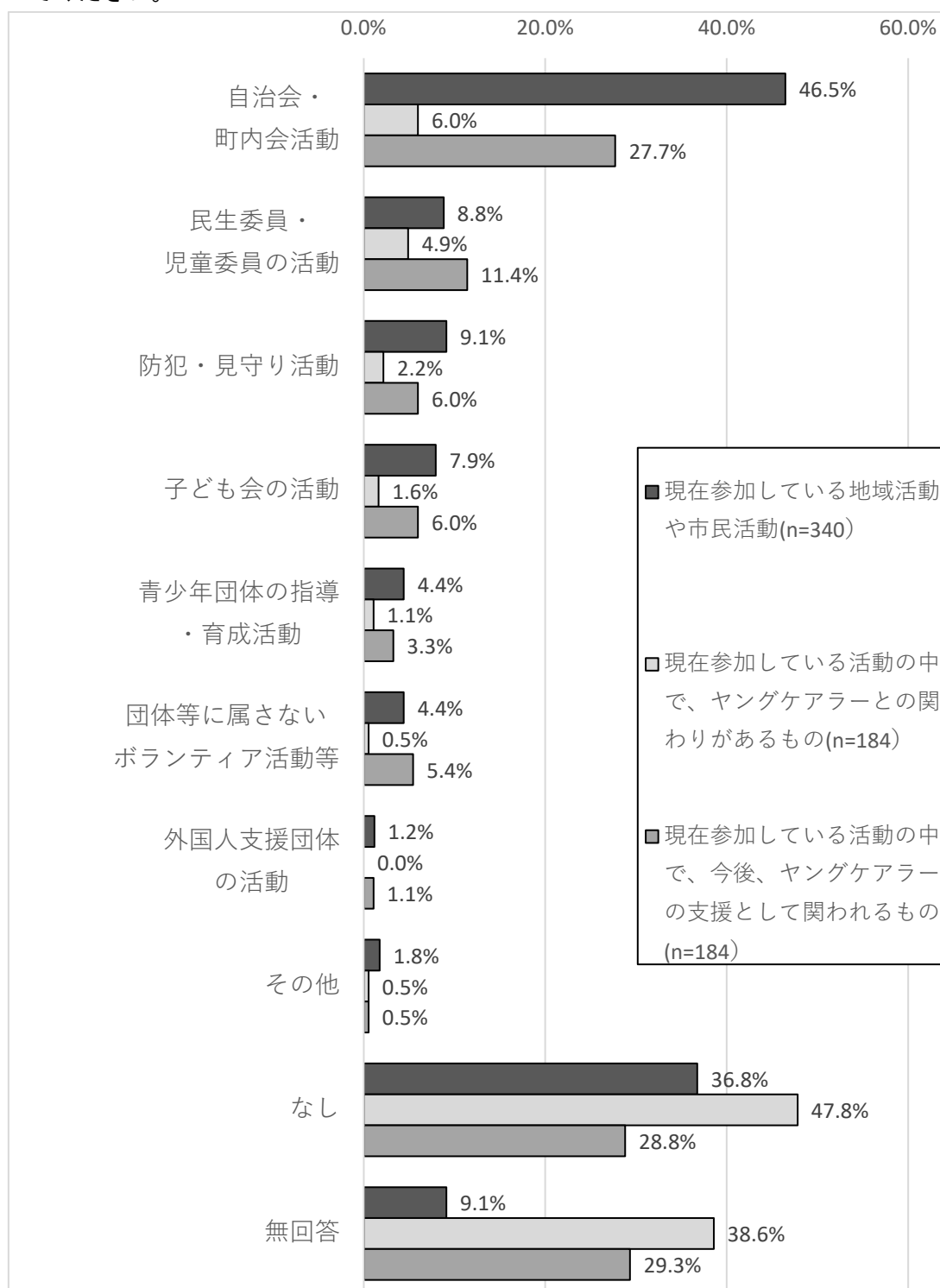
問 10 「ヤングケアラー」と思われる子どもがいる場合、その子どもにとってどのような仕組みや取組があると相談しやすい環境づくりにつながると思いますか。(n=340)



その他（内訳）：

- ・窓口があっても SOS を自ら出せる子どもたちは少ないため、大人側の気付きが必要だと思う。
- ・周囲が気づいて本人にアプローチする体制
- ・学校・自治などは硬すぎて相談はできないと思う。本当は周囲の世話好きの人が代理人などになり、いい方向へもっていきのいいと思う。家庭の中まで入るのでむずかしいと思う。
- ・身近に相談できる民生委員、児童委員が責任を果たす
- ・なんでも相談できる窓口（気軽に）
- ・病人を家庭で観る状況を変えること
- ・大人向けにはヤングケアラーが身近にいるかもしれないと普段から気に留める人が増えたら良いと思う。回覧板や広報にカラーの絵で大きくあると、直感的に分かりやすいと思う。文章だけだと、読み飛ばす気がする。
- ・子どもがヤングケアラーと認識していない場合もあり得ると思うので、その対策も必要と思う
- ・困った時は大人を頼ってもいいということが誰もが分かっていること。声が掛けられる地域の雰囲気
- ・ヤングケアラー当事者が、ヤングケアラーであると自覚できる環境づくり。学校で資料配布や講演会するなど。
- ・年齢が若ければ若いほど「自分が置かれている状況が普通」という認識でいると思うので、相談するという発想すらないはず。「こういう状況はおかしい」ということを学ぶ機会が必要だと思う。学んだところで「おかしい」を受け入れるのも難しいと思うので、カウンセラーも必要かと。
- ・学校の先生と親しく話せる関係を築くこと
- ・身近にいる人に相談できる環境をつくる
- ・子どもから大人は働きかけるのではなく、大人が気付いて動いてあげられるような環境が必要

問11 現在参加している地域活動や市民活動と、ヤングケアラーとの関わりについて教えてください。



その他（内訳）：（1）消防団（2人）、創価学会の活動、動物愛護活動、ボランティア
 （2）ボランティア
 （3）ボランティア

【問 11(2) で現在参加している活動の中で、ヤングケアラーとの関わりがあるものがある方に】

問 12 その活動において、ヤングケアラーに対して、どのような関わりをもっているか教えてください。(n=25) (人)

見守り・声かけ	16
ヤングケアラーと思われる子どもがいた時に 関係機関や相談窓口相談する	11
子どもの話を聞く・相談にのる	9
子どもの居場所をつくる・居場所づくりを手伝う	7
学習サポート	2
家事等のボランティア	2
通訳ボランティア	0
啓発促進用のパンフレットやカードを子どもに配布	0
その他	1
無回答	1

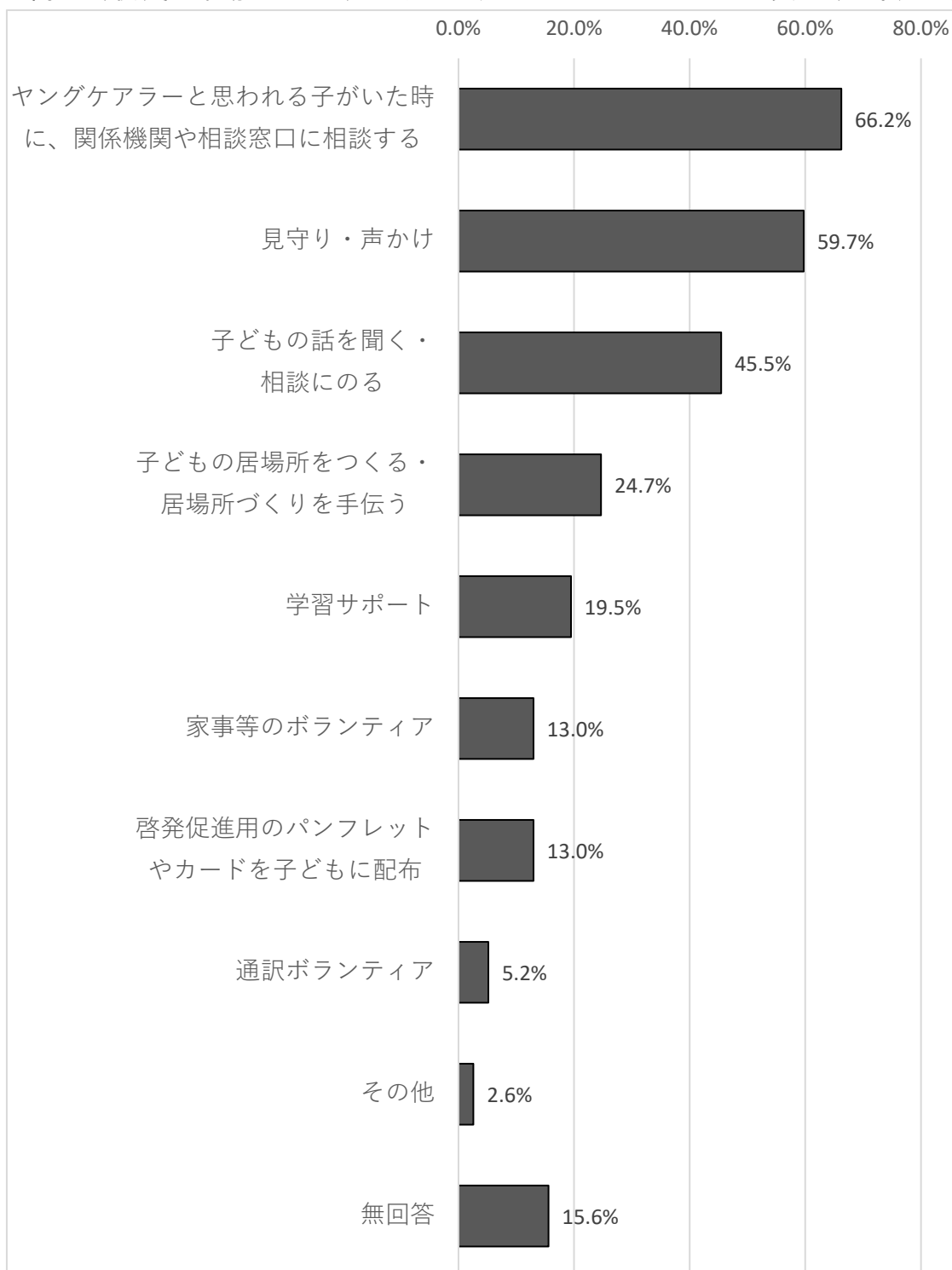
【問 11(2) で現在参加している活動の中で、ヤングケアラーとの関わりがあるものがある方に】

問 13 その活動においてヤングケアラー支援を行うために行政からの支援として必要なものはありますか。(n=25) (人)

相談窓口の拡大	18
支援方法についての説明・情報提供 ・ガイドブックの作成	15
ヤングケアラーに関する基本知識の情報提供	14
子どもの居場所の確保	10
金銭的支援	7
家事等への支援	5
広報・啓発の協力	4
連携できる機関の紹介	3
通訳支援	1
その他	0
特にない	2
わからない	1
無回答	0

【問 11(3)で現在参加している活動の中で、ヤングケアラーの支援として関われるあるものがある方に】

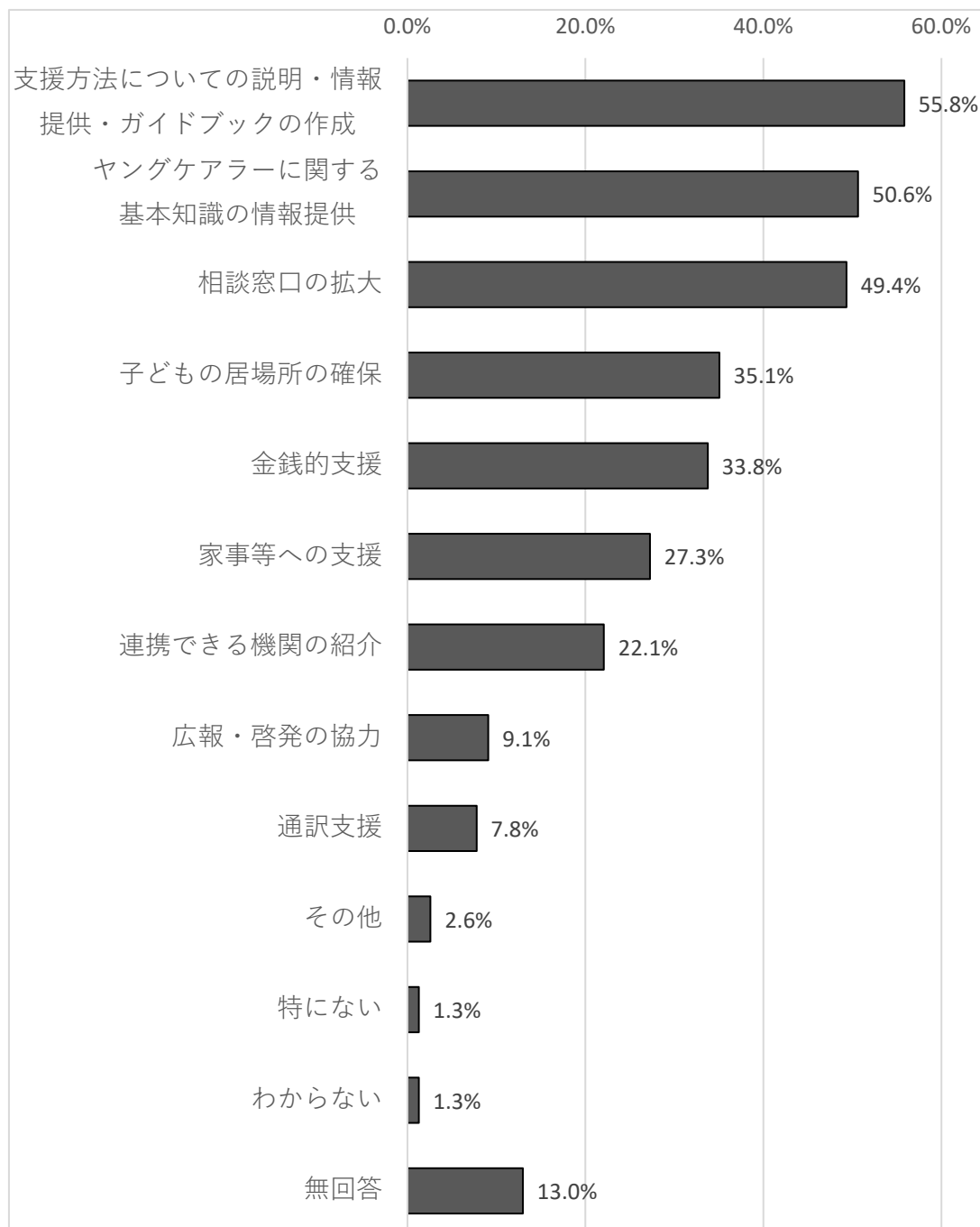
問 14 今後、その活動において、ヤングケアラーのためにできることはありますか。(n=77)



その他（内訳）：金銭的支援。自身の家族にサポートが必要な者がいるため、家を出るのは難しいのでネット、SNS ならより参加しやすい。

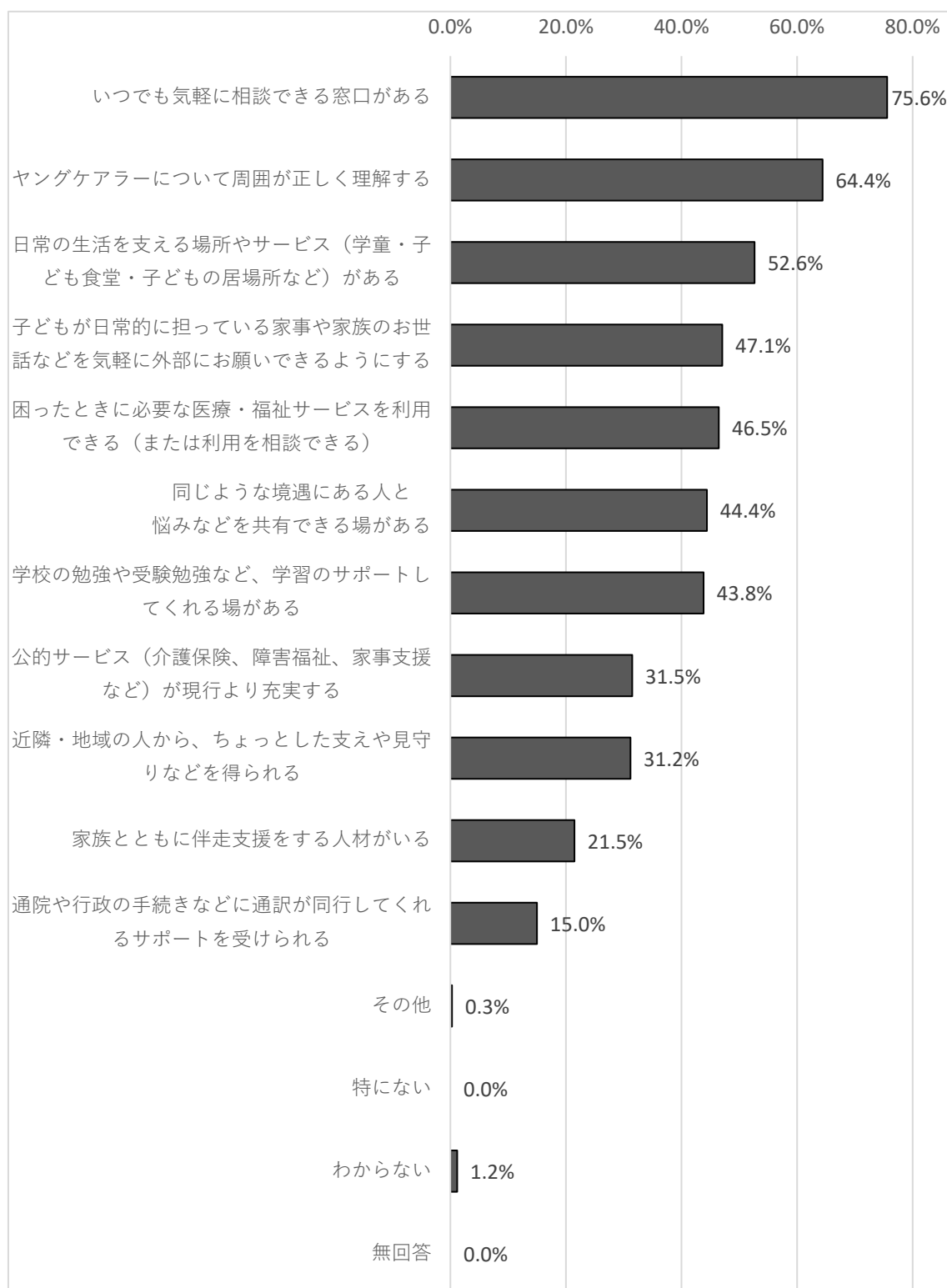
【問 11(3)で現在参加している活動の中で、ヤングケアラーの支援として関われるあるものがある方に】

問 15 今後、その活動において、ヤングケアラー支援を行うために行政からの支援として必要なものはありますか。(n=77)



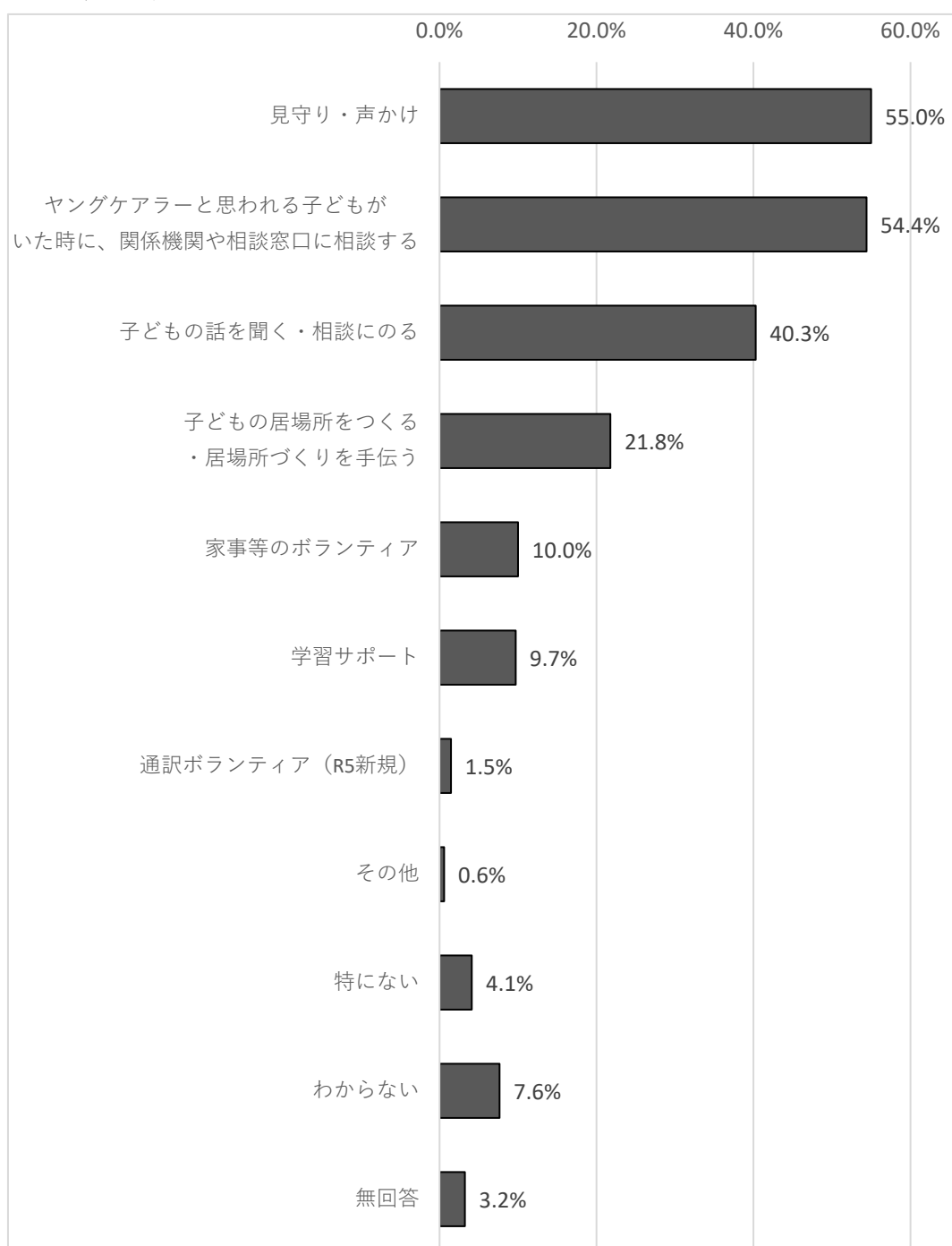
その他（内訳）：TVCM. 問題の根本を解決する支援。家庭に何かしらの困難がある場合がほとんどなので、ヤングケアラー当事者だけ支援しても困る人が変わるだけのような気がする。

問 16 「ヤングケアラー」への支援について、必要と思われることを教えてください。
(n=340)



その他（内訳）：心のケアも充実させて欲しい。

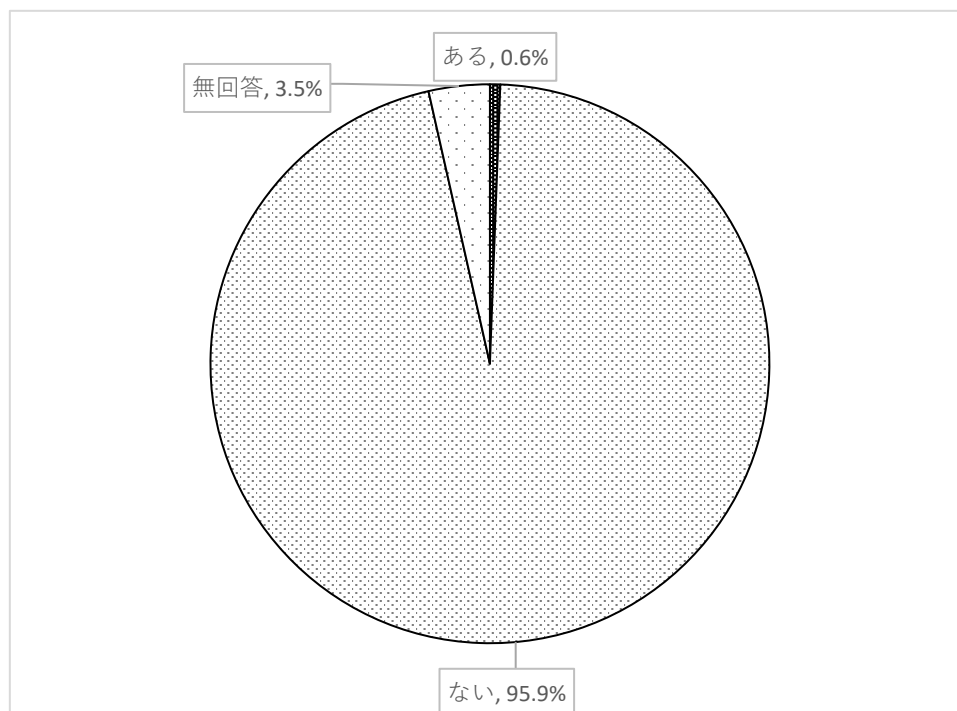
問 17 あなたが「ヤングケアラー」支援のためにできることについて教えてください。
(n=340)



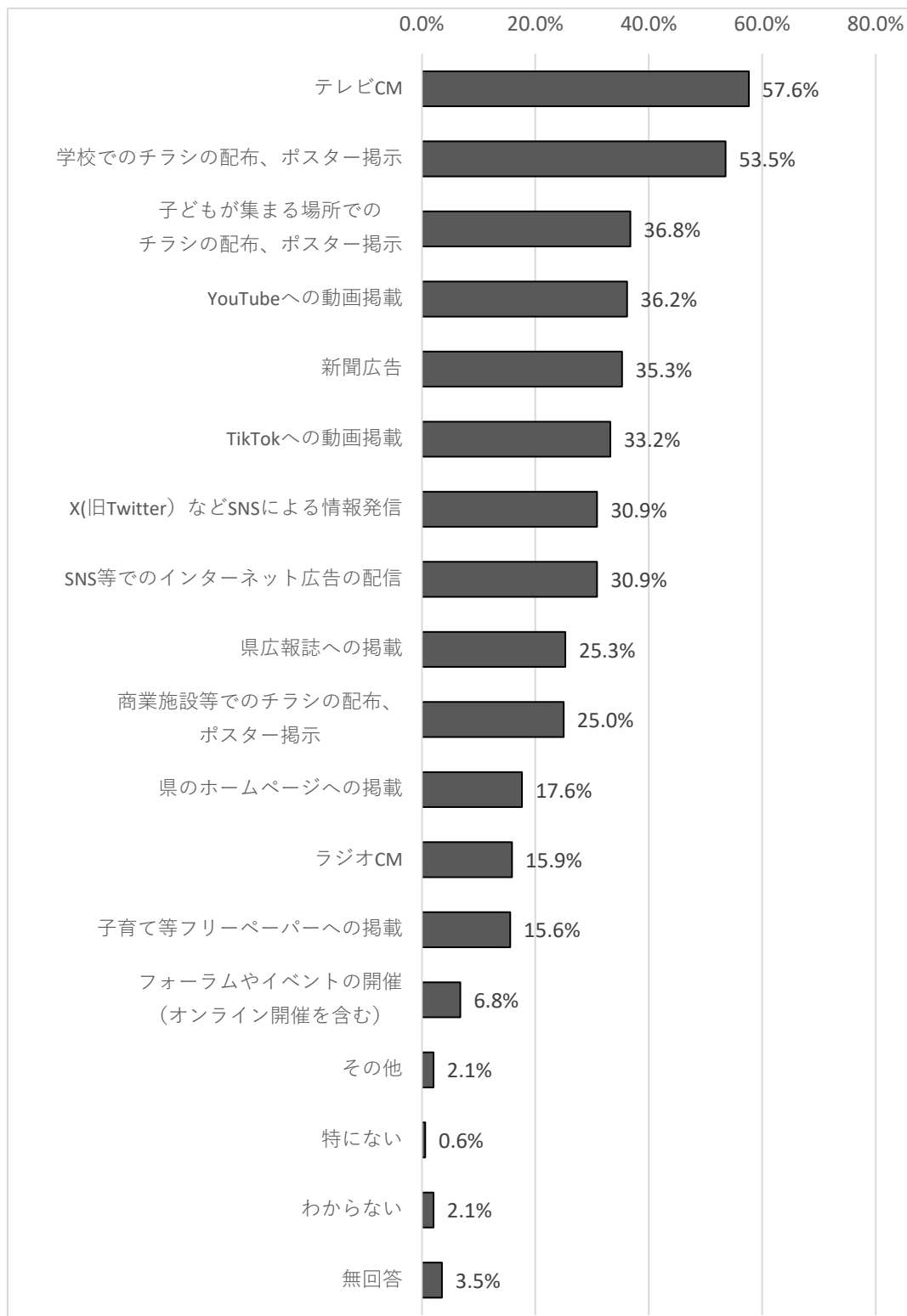
その他 (内訳) : 自分も年寄り、病人の家族がいるため、声かけや見守りやサポートする余裕がない。

先の回答と同じで、家族にサポートが必要な者がいるため、ネットや SNS でできる支援があればより参加しやすい。

問 18 山梨県では、TikTok において、ヤングケアラーにまつわる短編動画を公開していますが、視聴したことがありますか。(n=340)



問 19 山梨県では、ヤングケアラーへの理解を深めていただくため、様々な啓発活動を行っています。啓発活動として効果があると思われる取り組みについて教えてください。
(n=340)



子どもが集まる場所の例示：（子ども食堂、学童保育、図書館など）

その他（内訳）： ・自治体職員に親身になってくれる人材が必要。

- ・県の広報誌や新聞などはヤングケアラーでない人達には、効果的かと思われるが、当事者への呼びかけとしては効果が望めないように思う。
- ・回覧板

問 20 「ヤングケアラー」への印象や「ヤングケアラー」の支援に必要だと思われることに関して、ご意見があればご自由にお答えください。

「ヤングケアラー」への印象

- ・身近にその存在がいなかったなので、遠いことのように思っていた。
- ・言葉は聞いたことがあったが、内容はよく知らなかった。
- ・ヤングケアラーの状態が普通だと、子供が思ってしまった。
- ・あまり人には知られたくないから一人で頑張っちゃう印象がある。
- ・周りに頼りづらそう。
- ・多感な時期に自分を押し込めてヤングケアラーになるのはとても気の毒に感じる。
- ・社会構成の変化や家庭の状況によって生み出されてしまっている問題かと思う。
- ・外から見ると該当しているように見えても、家族の一員として助け合うことで子供も満足している場合もあり、難しい問題だと思う

など

「ヤングケアラー」の支援に必要だと思われること

<認知・理解促進>

- ・ヤングケアラーは深刻な問題だが、まだまだ世間に認知されていない。
- ・ヤングケアラーの人がいる現状を多くの人にわかってもらう手段を増やしてほしい。
- ・ヤングケアラーの子がどれくらい助けを必要としているか、求めているのかを把握・理解できることが重要
- ・ここ数年「ヤングケアラー」と情報で聞くので、手助けが必要の方には力になりたい（同様の意見複数）
- ・身近に感じないことが無関心につながってしまうので、継続的な啓蒙をお願いしたい。
- ・（問 19）の様な啓発（情報発信）がまず大切

など

<当事者の認知・理解>

- ・実際にヤングケアラーとして家族の為に働く子ども達は自分がヤングケアラーだと自覚していない事の方が多い。
- ・ヤングケアラーはあまり人に話したがらない、知られたくないと考える人も多い。（「友人や隣人に隠している」「自分ひとりで抱えこんでしまいがち」「まわりを見る余裕なんてない」との意見も）
- ・本人が辛ければどんな状況であろうと声を上げていいと思う。
- ・子どもが自分から助けを求めてよいと思ってもらえるようにしたい。
- ・困っている子どもが声を上げる方法を知っていることが大事。子ども達に一番伝わる方

法は何かを考えていきたい

- ・ヤングケアラーの立場にある人が一人で頑張らずに、支え合う社会を作ることが大切
- ・まずはみんながヤングケアラーについて理解し、もしも気になる人がいた時は勇気を持って声をかけてほしい。

など

<気軽に相談できる手段・相手・場所>

- ・気軽に相談できる機会を増やすことが必要（「安心して相談できる」など同様の意見多数）
- ・当事者が相談すること、支えてもらうこと、助けてもらえる事ができることを知ることが大事だと思う。（同様の意見多数）
- ・ヤングケアラーの人が助けてほしいと声を上げることができる環境を作してほしい。
- ・当事者が自発的に相談したりできるよう、相談窓口などの情報を子供の目にとまりやすい場所に載せるのがよい（「若者に伝わる手段で」など同様の意見複数）
- ・相談窓口ではプライバシーの保護も重要。

など

<周囲の大人が気づくこと>

- ・本人がヤングケアラーだと気づいていない場合があるので、周囲が気付けることが大切（同様の意見多数）
- ・自分から現状や窮状を周囲に言えない、言わないので、周囲にいる大人や機関が見つげにくい。この現実改善が急務ではないか。（同様の意見複数）
- ・周囲の気づき、サポート、長い期間の見守りが必要（「気づいたら、声かけや見守りをしたい」など同様の意見複数）
- ・周囲が理解して、協力することが、大事！そのためには、知識と環境作り
- ・ハイリスクな家庭を周囲（関係機関）がみつけ、それを支援機関と共有しながら、確認していくようなシステムが必要
- ・周りの人が気付けるように普段から地域の行事に参加することも大事
- ・プライバシー等の問題もあるので、ヤングケアラーの疑いがある場合に声かけをする人の身分を保障する法の整備等も考えないといけないと思う。

など

<学校での対応>

- ・子供の生活圏である学校の先生が、家族以外で一番気付き易い存在だと思う
- ・学校で定期的に聞き取り調査を行うと良いのではないか（同様の意見複数）
- ・TVやインターネットよりも学校における直接的な啓蒙の方が効果的

- ・直接相談できる窓口を最も身近な学校内に設ければ、利便性が増す

など

＜行政の支援＞

- ・学校や地域の自治体などが情報共有して、事態が悪化する前に対策を取る必要がある
- ・窓口は1つとし、縦割り行政はやめる。出来ないなら、関係箇所が定期的に集まって現状の把握、今後の対応を整理していく体制作り
- ・年収や家族構成からヤングケアラーの可能性のある家庭には、ケアされる大人を行政でフォローできれば良い
- ・啓発活動に力を入れるより、ヤングケアラーの方々にまずは金銭的援助をしてほしい（同様の意見複数）
- ・無料で利用できる行政サービスやボランティアを充実できれば頼りやすくなる
- ・彼らの教育への支援と、学業とケアの両立が課題。心理的なサポートやカウンセリングの提供も重要

など

＜地域の支援＞

- ・地域や近隣の者としては、認知する事、然るべき場所に通知する事ができる。認知した後は具体的方策を提示出来る機関が積極的に関与して行くしかないと思う。
- ・身近にいる民生委員・児童委員の積極的な働きかけが必要（同様の意見複数）
- ・地域で声かけて相談できるような環境にしていけるような取り組みがあるといい

など

＜支援が難しい＞

- ・個人的に介入する事がとても難しい(同様の意見複数)
- ・助けてやれる事があれば、手を貸したい。が、難しい。(同様の意見複数)
- ・家庭内事情に対して足を踏み入れるのは敷居が高いし、自分がヤングケアラーの当事者だと思つと気分を害する。
- ・ケースバイケースで解決策は1つではないと思う。

など